



団地TOPICS

さまざまな団地で行われた
イベント活動をお知らせします。

一足早い春の香りを

フラワーアレンジメント教室を開催
富雄(奈良市)



春の気配も近づくと2月16日、富雄団地でフラワーアレンジメント教室を開催。講師にフラワーセラピストの前田多美さん・角田ゆみさんを迎え、21人の住民がアレンジを楽しみました。



会場にはチューリップやスイートピーなど春色の花々が並び、参加者はそれぞれお気に入りの花を選んで制作をスタート。「大切な人のために」をテーマに作品づくりに取り組みました。今回の教室の特徴は、お手本も決まった手順もないこと。参加者の約半数は初心者でしたが、「生花に触れ、感じたままに、自分の好きな花を好きな順で」という講師のアドバイスのもと、手にした花の香りを楽しんだり、花をじっと見つめてインスピレーションを感じたりしながら、思い思いの方法で作品をつくり上げていました。

久しぶりにお花に触れたという参加者は「家ではこんなにたくさんのお花を飾る機会がないので、とても新鮮で癒やされました」とこっこ。完成後は、住民同士で作品を見せ合いながら「いい色ね」「この花に視線がいくね」と、話にも花が咲いたようです。



1. 「一番のお気に入りの花を決めると、きれいに仕上がりますよ」と先生 2. 花台風の撮影スペースを用意。携帯電話でバシャリ！ 3. イベントの冒頭には、奈良住まいセンターから「見守りサービス」生活支援アドバイザーから「あんしんコール」の説明も行われました

色あざやかな花壇が完成！

座学と実習でじっくり学ぶ園芸教室
平城第2(奈良市)



晴天に恵まれた2月24日、平城第2団地で(株)URコミュニティ奈良住まいセンター主催の園芸教室が開催されました。同住まいセンターの呼びかけにより、日本総合住宅生活(株)奈良支店(以下、JS)の協力を経て実現した講習会。かねてから楽しみにしていたという自治会花壇クラブの皆さんが集会所に集合しました。

講師はJS阪神支店の社員。細やかなテキストに沿って、土壌管理や植え付け方法などについてゆっくりと説明が進められました。他の園芸グループとの交流や道具選びも楽しみながらといったアドバイスもいただき、座学は終了。いよいよ屋外実習のスタートです。

まずは、29号棟西側の第3花壇の植え付けから。先生がデザインした「ひし形」をベースに、色あざやかなパンジーや真っ白なノースポールを等間隔で配置していきました。全体を見渡しての微調整も大切に。和気あいあいとした雰囲気にも包まれながら、花壇が一気に華やかになりました。続いて、第1花壇へ移動。歩道橋入り口の広々としたスペースに、シクラメンやスイートアリッサムなどをバランス良く、JS職員もお手伝いしながら完成させました。「きれいな花壇ができましたね」と道ゆく人たちにもこっこ。春の訪れが待ち遠しい一日になりました。



1. 「デザインがとても勉強になりました」花壇クラブの皆さんとJS社員 2. 先生自作のテキストに沿って約1時間の講習会 3. 植え付けや水やりのポイントについて、花壇での屋外実習 4. 色とりどりの花は見ているだけで癒やされます

身近な人のために、今できることを考えよう

終活の備え～遺言、エンディングノートなど～
サンラフレ出来島(大阪市西淀川区)



3月6日、サンラフレ出来島団地で(株)URコミュニティ阪神住まいセンター主催の「終活の備え」講座を開催しました。NPO法人障がい者・高齢者市民後見STEP代表理事の竹村哲也さんを講師に迎え、「終活」についてレクチャーを受けました。



集まった参加者15人の半数は独居の高齢者。竹村さんの「一番遺言書を書くべきは子どものいない夫婦やおひとりさまです」との説明に、多くの参加者が驚いてお互いの顔を見合わせました。「相続トラブルの75%は財産額5000万円以下で起きています。速い親戚同士のやりとりで苦労するのは配偶者や残された人です」とも語る竹村さん。参加者からは心配の声が上がる中、「争執」を防ぐためにはエンディングノートや自筆証書遺言、公正証書遺言などを上手に利用するように推奨されていました。

認知症に話が及ぶと、さらに参加者は真剣な表情に。「銀行の預金下がろせなくなる」といったトラブル予防に効果的な「成年後見制度」を紹介。今後認知症の増加が確実視される中、早めの対策を呼びかけていました。さまざまな事例を聞き、参加者の多くが万一の備えの大切さを再認識されていました。



1. 竹村さんの明快な話し口に、参加者は終始くぎ付けに 2. 参加者の高い関心がうかがえました 3. 「相続は亡くなった人の配偶者や兄弟に関わる問題ですが、遠方に住んでいるなどの理由で話し合いが難しい場合も」と竹村さん 4. 真剣な表情で質問する参加者

緑を通じて、人がつながる団地づくり

“はなみどさん”による多肉植物寄せ植え体験
千里青山台(大阪府吹田市)



3月10日、千里青山台団地で多肉植物寄せ植え体験を開催しました。団地敷地内に設置された住民手づくりの庭「みんなの庭」の指導役である吹田市花とみどりの情報センター(通称「はなみどさん」)の協力を得て、箕面市のガーデニングショップ「Green note」の曾谷恵美さんを講師に迎えました。

約15人の参加者は、色とりどりの鉢の中から1つ選んで体験スタート。大きさや色合いの異なる多肉植物15種類の中から好きなものを4～5個ほど選び、水はけの良い専用の土を入れた鉢に配置していきます。「高さの強弱をつけて、色味のバランスも整えてみてください」と曾谷さんが説明すると、参加者は「こんな

のどう?」「もっとセンスよくしたいわ」と、悪戦苦闘しながらも寄せ植えを満喫していました。1から自分の手でつくり上げたものは喜びもひとしおで、でき上がった鉢を前に撮影を行いながら園芸談話に花を咲かせていました。

イベントに合わせて珍しい植物の花苗販売が行われ、植物を持ち込んで育て方を相談する方も。4月からはなみどさんが「また次回に」と別れを惜しみながらの閉会となりました。



1. 皆さん熱中しており、体験の1時間はあっという間に過ぎました 2. 親子連れの参加も多く、子どもたちも見よう見まねで寄せ植え 3. 講師の指導を受けながら「なるほど」とうなずく参加者 4. 育て方などを聞きながら「どれを買うか悩む～」

児童用スールが遊び場としてリニューアル

「フルひろば」がオープン！
西大和片岡台(奈良県北葛城郡上牧町)



団地内でかつて子どもたちに親しまれた幼児用プール。ここ数年利用されることがなくなり、団地自治会から「子どもたちの遊び場として活用したい」という要望が寄せられていました。このたび、UR都市機構京奈エリア経営部の協力により遊びの広場としてリニューアル。2月17日にお披露目を兼ねたオープニングイベントを実施し、広場の完成を心待ちにしていた子どもたちや通りすがりの親子連れでにぎわいました。

また、住民から永らく愛される広場になることを願い、広場の愛称を住民から募集。多数寄せられた応募作品の中から、小学校1年生のえいた君の作品「プー



1. 幼児用プールの構造を再利用しているため、雨上がりでも水はけは抜群。柔らかいクッション材で小さいお子さんでも安全に遊ぶことができます 2. オープニングイベントに3世代で立ち寄った親子は「昔、このプールで泳いだ記憶があるわ」と話していました 3. 広場の名付け親になったえいた君に図書カードが贈呈されました 4. 広場のオープンを心待ちにしていた子どもたち

ルひろば」に決定。

3月23日にネームプレートの除幕式を行い、(株)URコミュニティ奈良住まいセンターから記念品が贈呈されました。広場は春休み期間の3月下旬に本格オープン。子どもたちの元気な声が団地内でこだましています。



1. 幼児用プールの構造を再利用しているため、雨上がりでも水はけは抜群。柔らかいクッション材で小さいお子さんでも安全に遊ぶことができます 2. オープニングイベントに3世代で立ち寄った親子は「昔、このプールで泳いだ記憶があるわ」と話していました 3. 広場の名付け親になったえいた君に図書カードが贈呈されました 4. 広場のオープンを心待ちにしていた子どもたち

コミュニティニュース

都島リバーシティ
(大阪市都島区)

親子で気軽に集える場所
「ママコミュひろば」好評開催中

2017年1月、12号棟集会所内にオープンした「ママコミュひろば」。団地の住民の方ならどなたでもご利用できる子育てスポットとして親しまれています。住民のアンケートで図柄をセレクトした壁紙やコルクの床材など、温かみが感じられる部屋には子どもたちが思い切り遊べるプレイスペースを設置。保護者も楽しめるイベントも開催しています。

取材に伺った日は、堺市で活動しているチャイルドマインダー・木村恵さんによる「ビー玉アート」を実施。色とりどりの絵の具をつけたビー玉をトレイの中に敷いた紙の上で転がすと、その軌跡が鮮やかな絵柄を描きます。夢中で色を選ぶ子どもたちと一緒に「私たちも楽しいね!」とお母さんも笑顔に。

オープン当初から通っているというお母さんは「騒音を気にせず思い切り遊べるので子どもも楽しそう。通りすがりは声をかけにくい子育て世代の方と知り合いになれるのもいいですね」と話します。担当のUR都市機構大阪エリア経営部企画課・市川洋主査は「この団地は淀川河川公園にも近く子育てに適した団地。オープンして1年経ち「ママコミュひろば」が子育てを通じた交流の場になってきている」と手ごたえを感じています。



1. クッション性の高い素材を使ったプレイスペース。おもちゃや絵本もそろっています 2. 「次はこの色!」色を選ぶ目もキラキラ輝いています 3. 完成した作品は乾燥後に額装して持ち帰りました

vol.7

団地テナント 気になろお店

高校卒業資格が取得できるフリースクール

団地内27号棟で放課後等デイサービス「ぎずなはうす」を運営する(株)絆ホールディングスが4月1日にオープンしたフリースクール。さまざまな事情で学校に通うことが困難な小学生から高校生を対象に「自分らしくいられる「居場所」」になることを目指しています。合計約170㎡の広々とした空間での学習は、教員免許を持ったスタッフの指導のもと、子ども一人ひとりのスタイルに合ったカリ

キュラムでの受講が可能。代々木高校(三重県)との連携により、高校卒業資格を取得できることが特長です。「日常生活で必要なことにも興味を持って取り組んでもらうため、楽しみながらいろいろなことに取り組める支援を目指している」と運営責任者の田中博総務部長は話します。相談支援事業所も併設し、育児の悩みや困りごとにも相談可能。子どもだけでなくその保護者にとってもかけがえのない場所になることが期待されます。



SHOP DATA

📍 大阪市北区長柄東2-1 さざなみプラザ団地21号棟101
☎ 06-6484-9688 🕒 月曜～金曜 8:30～15:30
🌞 土曜、日曜・祝日、春休み、夏休み、冬休み
🚶 OsakaMetro 谷町線・堺筋線・阪急千里線「天神橋筋六丁目」駅から徒歩約10分 又は JR「大阪」駅から大阪シティバス約15～20分「長柄東」下車徒歩約5分

暴力団対策協議会を 大阪地区で開催

昨年11月から奈良、兵庫、京都で実施してきた「独立行政法人都市再生機構暴力団対策協議会」。2月14日に大阪地区総会を大阪市中央区のKKRホテル大阪で開催しました。

府内のUR関係者と警察関係者が一堂に会し、暴力団追放3ない運動+1(「暴力団を利用しない」「暴力団を恐れない」「暴力団に金を出さ

ない)+「暴力団と交際しない」)の重要性を確認。

協議会の決意表明として(株)URコミュニティ千里住まいセンター お客様相談課・多田嗣課長が決議文を宣誓。あらゆる暴力を排除し、安全・安心・快適な居住環境を作るため、大阪府警との連携により「暴力の排除に必要な情報の交換、研究および啓もう活動を行



うこと」「暴力団等からの不当要求については、断固としてこれを拒否すること」「暴力団等の不正入居等については、一切これを許さず、発見した場合はすみやかに是正措置をとること」を誓い閉会しました。